



タッピー市場

TAPPY ICHIBA

タッピー市場とは

札幌市東区には「食の世界遺産」と言われる「味の箱舟」に認定された玉ねぎ「札幌黄」やマスコットキャラクター「タッピー」関連商品などのご当地商品、次世代に引き継ぎたい北海道ならではの宝物「北海道遺産」など多くの見どころがあります。「タッピー市場」ではこういった東区の魅力的なご当地商品や施設をご紹介します！



タッピー市場チャンネル

ご当地商品や見どころを紹介する動画をYoutubeで発信中！より詳しい解説をご覧になれます。

タッピー市場チャンネルの動画はこちらから

URL <https://www.city.sapporo.jp/higashi/ichiba/ichibachannel.html>



※店舗や施設の状態により、動画を公開していない場合があります。





タッピー関連商品

タッピーは、平成4年度に東区区制施行20周年を記念して公募により誕生した「たまねぎの妖精」です。名前は「たまねぎ」と「ハッピー」を組み合わせたもので、そのデザインは、区内店舗や公共施設での掲示物のほか、お菓子や各種グッズにも活用されています。



光ファクトリー



タッピークッキー

道産小麦を使ったクッキーなどを丁寧に手作りしているお店です。合成着色料を使わず、天然の素材の色を生かして製造しているアイシングクッキー「タッピークッキー」は、東区らしく、買った人も幸せになって欲しいとの思いが込められています。一枚一枚手書きしているため、様々な表情のタッピーができていきます。光ファクトリーの他、関連店舗（HP参照）、東区役所売店で購入することができます。

- 札幌市東区北20条東15丁目1-10
- 営業時間：10:00～17:00
- 定休日：土曜・日曜・祝日・お盆・年末年始等
- 電話：011-753-5294



フォセットフィーユ



タッピークッキー

キャラクターのオーダーメイドケーキが人気の洋菓子店です。道産素材を主に使い、新鮮なものを使うよう素材選びに凝って製造しています。北海道産の脱脂粉乳を使用したミルク風味の「タッピークッキー」は、東区とのコラボレーションをきっかけに誕生しました。絵柄は全4種類。屋号は「娘のえくぼ」という意味で、食べた人にもえくぼができるようなお菓子作りを目指しています。

※タッピークッキーは不定期販売のため、販売状況については店舗へお問い合わせください。

- 札幌市東区北35条東7丁目3-19
- 営業時間：10:00～20:00
- 定休日：不定休
- 電話：011-711-3911



株式会社トージン

東区民限定缶バッジ vol.2



東区民限定缶バッジ Vol.2



全10種類+シークレット1種類



道内最大級の品揃えをほこるカプセルトイ（ガチャガチャ）専門店を運営しており、タッピーのイラストや東区にまつわるデザインが使われた「東区民限定缶バッジVol.2」を販売。缶バッジ

は公開されている10種類のデザインの他、シークレットデザインが1種あります。区内3か所の他、区外4か所にガチャガチャが設置されています。

【「東区民限定缶バッジVol.2」カプセルトイ東区内設置店舗・住所】

- ① アリオ札幌 札幌市東区北7条東9丁目2-20
- ② 北のたまゆら東苗穂 札幌市東区東苗穂11条2丁目
- ③ #C-plaイオンモール苗穂店 札幌市東区東苗穂2条3丁目1-1

※東区外では、#C-plaイオンモール発寒店、#C-pla狸小路店、#C-plaエスタ店、#C-pla4丁目プラザ店に設置しています。

※缶バッジに関するお問い合わせは株式会社トージンまで。

- 電話：011-792-2151



ケーキハウスアルディ



タッピーサブレ

小麦、バター等の材料は全て道産品を使用。地産地消の思いのもと、丁寧に手作りでお菓子を製造しています。タッピー誕生をきっかけに20年以上作り続ける「タッピーサブレ」は、目の「黒ゴマ」を一粒ずつ手作業で入れており、少しずつ表情が違っても楽しめます。子どもを始めとして幅広い年齢層に人気で、道内外のお土産としても知られています。

- 札幌市東区北34条東17丁目1-26
- 営業時間：10:00～20:00
- 定休日：月曜（祝日の場合、翌日）
- 電話：011-786-1552





札幌黄の料理や加工品

札幌市東区は日本の玉ねぎ栽培発祥の地であり、札幌黄は明治時代からの在来種です。病気に弱いことなどの理由から、生産量が少なく、入手しにくいと「幻の玉ねぎ」と言われていますが、肉厚で柔らかく、加熱後の甘みが強いという特長から、「札幌黄」を好むファンが増えてきています。



福吉カフェ



チキン
スープカレー

とんぱーぐ

元々、たまねぎ畑を耕すための農耕馬の飼育舎として建てられたレンガ造りの建物を改装したカフェレストラン。メニューには札幌黄をふんだんに使用した「スープカレー」や、札幌黄ソーテーをたっぷり使用した特製オニオンソースで食べる「とんぱーぐ(上川産豚肉100%ハンバーグ)」が提供されています。

【伏古店】

- 札幌市東区伏古9条3丁目3-3
- 営業時間：11:00～20:00 ● 定休日：無し
- 電話：011-792-8507



※東区外ではカムイスキーリンクス店でも提供されています。(詳細はHPをご参照ください)

どんぐり



ちくわパン

カレーパン

喫茶店をルーツにもち、札幌市を中心に店舗を構えるパン屋で、「焼きたて」「できたて」を大切にしています。自家製のルーを使用した「カレーパン」や「ちくわパン」に札幌黄が使われています。

【アリオ札幌店】

- 札幌市東区北7条東9丁目2-20 アリオ札幌1階
- 営業時間：10:00～21:00
- 定休日：アリオ札幌休業日 ● 電話：011-214-1193



※市内各店舗で札幌黄を使用したパンを販売(通常11月～翌5月頃)。詳細は各店舗(HP参照)にお問い合わせください。

丘珠空港



丘珠空港内のレストラン「丘珠キッチン」では、北海道産小麦3種をブレンドし札幌黄を練りこんだ麺を使用した「丘珠ラーメン」を提供しています。「スカイショップおかだま」では札幌黄に漬け込んだ「丘珠ホルモン」、80%野菜でできており札幌黄も含んだ「ちょびりこ。ジャム」が販売されています。

- 丘珠空港住所：札幌市東区丘珠町



【スカイショップおかだま】2階

- 営業時間：7:00～18:00
- 電話：011-785-5411



【丘珠キッチン】2階

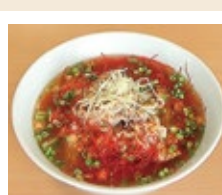
- 営業時間：7:00～17:30 (ラストオーダー17:00)
- 電話：011-785-0221



ちょびりこ。ジャム



丘珠ホルモン



丘珠ラーメン

大衆食堂カムイ



カムイカレー

"親しみやすい価格で本格的な味わい"をモットーに、札幌黄を使ったカレーライス「カムイカレー」を製作・販売しています。札幌保健医療大学との共同で開発された「カムイカレー」は、スパイスカレーにすることで札幌黄の甘みを絶妙に引き立てています。トッピングの乾燥玉ねぎ(札幌黄)も楽しめます。

- 札幌市東区北42条東7丁目1-1 嶋ビル1階
- 営業時間：11:00～19:00
- 定休日：無し(臨時休業あり)
- 電話：011-711-3556



Instagram





北海道遺産
Hokkaido Heritage

北海道遺産

北海道遺産とは、次の世代に引継ぎたい北海道の宝物で、豊かな自然をはじめ北海道に生きてきた人々の歴史・文化・生活・産業など、有形・無形の財産の中から道民参加で選定されています。東区では、札幌発展の礎となった「大友亀太郎の事績と大友堀遺構」と、苗穂駅近隣における北海道の産業史を知るうえで貴重な「札幌苗穂地区の工場・記念館群」が北海道遺産として選定されています。

※各施設見学の受付状況については、各施設の公式HPでご確認ください。

札幌村郷土記念館



やくたくあとち

大友亀太郎の業績を語り継ぐための記念館で、亀太郎の役宅跡地に建てられています。当時の生活用具や古文書(昭和62(1987)年に札幌市有形文化財に指定)、大友堀の姿を現代の航空地図上で再現した床置地図等が展示されています。また、敷地内には、明治天皇が明治14(1881)年8月に大友堀を中心に開墾された農業の実状を視察したことを記念した石碑が建てられています。

- 札幌市東区北13条東16丁目2-6 ●電話：011-782-2294
- 営業時間：10:00～16:00 ●入場料：無料
- 定休日：月曜、祝日の翌日・12/29～1/5



サッポロビール博物館



館内の様子

札幌の赤レンガ建築を代表する、日本で唯一のビール博物館です。明治23(1890)年に札幌製糖会社の工場として建設され、明治38(1905)年～昭和40(1965)年までビールの原料である麦芽をつくるための製麦所として稼働、昭和62(1987)年に永久保存するために博物館としてオープン。平成28(2016)年には内部がリニューアルされ、プレミアムツアー(有料)では貴重な復刻札幌製麦酒が楽しめます。

- 札幌市東区北7条東9丁目1-1 ●電話：011-748-1876
- 営業時間：11:00～18:00(17:30最終入館)
- 入場料：無料(有料のプレミアムツアーもあり)
- 定休日：毎週月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館日あり



福山醸造



施設内直売所



大正7(1918)年10月、福山醸造の前身である福山商店は、水の良さで知られる苗穂地区にみそ・しょうゆ工場を建設しました。現在でもこの赤レンガ造りの工場ではしょうゆが製造されています。

- 札幌市東区苗穂町2丁目4-1 ●電話：0120-120-280

施設内直売所

- 営業時間：10:00～16:00
- 定休日：土曜・日曜・祝日、お盆、年末年始



北海道鉄道技術館



アルファコンチネンタルエクスプレス



JR北海道苗穂工場の敷地内にある明治43(1910)年に建設された赤レンガ造りの用品倉庫を昭和62(1987)年に北海道鉄道技術館として開館しました。館内には北海道初のリゾート列車「アルファコンチネンタルエクスプレス」の先頭部分や、運転体験のできるHOゲージ、その他鉄道に関する多くの資料が展示されています。苗穂工場は100年以上にわたり車両の検査、製造、修繕を行って、北海道の鉄道を支えてきました。

- 札幌市東区北5条東13丁目(JR北海道苗穂工場内)
- 電話：011-721-6624 ●入場料：無料
- 営業時間：13:30～16:00(第2・4土曜日)



酪農と乳の歴史館



勝源神社

前身の組合からの創業50年を記念して昭和52(1977)年に設立されました。乳製品製造に用いた昔の機械や現在の製造工程のミニチュア模型、歴史を物語る貴重な史料を展示しているほか、合格祈願・必勝祈願の守り神を祀る「勝源(かつげん)神社」が設置されています。隣接する牛乳工場と併せて見学することができます。

- 札幌市東区苗穂町6丁目1-1 ●電話：011-704-2329
- 営業時間：9:00～11:00、13:00～15:30
- 入場料：無料(前日までの予約制)
- 定休日：土曜・日曜・祝日・年末年始



【協力】

社会福祉法人さっぽろひかり福祉会、フォセットフィーク、有限会社アルディ、株式会社トーシン、札幌丘珠空港ビル株式会社(スカイショップ丘珠)、株式会社スコット(丘珠キッチン)、ノース・クロップ株式会社(丘珠ホルモン)、ちよびりこ。ジャム研究所、株式会社ベルライフ(大衆食堂カムイ)、えびすけ株式会社(福吉カフェ)、株式会社どんぐり、札幌村郷土記念館、サッポロビール株式会社、福山醸造株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、雪印メグミルク株式会社

【企画・編集】

札幌市東区市民部地域振興課
〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目
電話：011-741-2429(地域振興課直通)



さっぽろ市
02-001-21-1946
R3-2-1264

SAPPORO